

令和6年2月2日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園
園長 東海林 肇

園長だより「かけはし」

1年の中で一番寒さが厳しいと言われている時期ですが、子どもたちは元気いっぱい
外で駆け回り、お部屋でも楽しい笑い声が聞こえてきます。規則正しい生活（食事・睡眠）
を心掛けて病気に負けないように努めましょう。厚着をしすぎると、もこもこして体
を動かさずになります。また、ちょっと体を動かすだけで汗をかいてしまい、かえって
風邪をひきやすくなります。子どもは大人より1枚
少ないくらいがいいようです。まだまだ感染症も流
行しています。うがい手洗いを徹底して健康管理に
努めましょう。寒い日も続くと思いますが、明日の
節分、明後日の立春を迎え、暦の上ではいよいよ春
が到来する季節です。



「うるう年」

今年は4年に1度のうるう年の年です。うるう年ってそういえば何かと個人的に調べて
みました（たいして深掘りはしていませんが）。地球は、太陽の周りを約365.2422日で1
周します（へえ〜）。しかし、カレンダーは、1年を365日としています。このため、約0.2422
日のずれが毎年発生します（そうなんだ）。たとえばこのずれが積み重なって、7日のずれ
が発生したとします。そうするとクリスマスが12月25日ではなく、1月1日になってしま
い、サンタも困ってしまいます。なぜならプレゼントではなくお年玉を配りに行くことにな
ってしまうからです。この問題を解決するために（サンタのためではないですが）、うる
う年が導入されたということです。うるう年に、1日追加することで、このずれを修正し、
具体的には、4年ごとに1日追加されることで、約 $0.2422 \text{ 日} \times 4 = 0.97 \text{ 日}$ のずれを修正し
ます。ただし、この方法だけでは、0.03日のずれが残ってしまいます。このため、さらに細
かい修正が必要だそうです。そこで、100で割り切れる年と400で割り切れる年の例外ル
ールというものもあるそうです（色々大変なんですね）。でもこうやって季節のずれを修正し
ていることが分かりました。そこで個人的に疑問が一つ。うるう年の2月29日に生まれた人
は誕生日が4年に1度しかこないけど実際どうしているのでしょうか。調べてみると、この
特別な日に生まれた人の誕生日の扱いは、4年に1度しか本当の誕生日を迎えることができ
ませんが、それでも毎年、年を取ることは変わらないので、日本では、2月29日生まれ
の人は、うるう年には「2月29日」を、平年には「2月28日24時以降（3月1日）」を誕
生日として祝うのが一般的だそうです。まあ当然なんですが、それでも自分の生まれた誕生
日がカレンダーに4年に1度しかないというのはなんだか微妙な気持ちでしょうね。もし
かして80年前にうるう年の2月29日に生まれて頑なに4年に1度しか祝ってなければ
今年の2月29日は20歳の誕生日でやっと成人の仲間入りだと言っている80歳の人がい
るかもしれないですね。